

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

ふるさと 郷土の思い受け

無投票で三期目当選。決意新たに！

告示日は雨の出陣

今回の道議選挙の告示は4月3日。この日の予想は全国的に雨。最近『雨男』『嵐を呼ぶ男』と称される北口道議にぴったり(?)の出陣となりました。

そして、この告示日には、知事候補である佐藤のりゆきさんが上川管内で遊説を行うとのこともあり、土別市、剣淵町、和寒町では、北口道議と合同の街頭演説



告示日、雨の中で農業振興や人口減少の課題を訴え(4月3日)

会となりました。

あいにくの雨となった士別市では300人を超える皆さんに、北口道議と佐藤のりゆきさんの思いを聞いていただいた。

知事候補の佐藤のりゆきさんは、「農業と観光を振興して北海道を元気にしたい。そのためにも、北海道に原発はいらない。脱原発の視点で道政を運営する」とお話しされました。

農業で地域振興を

一方、北口雄幸道議からは、「地方創生が叫ばれているが、地方を元気にするに

は基幹産業の農業で新しい担い手を受け入れることが必要。規模拡大をめざすのではなく、小規模でも一定の収入を得る仕組みづくりが必要。そのために北海道がしっかりと支援をしていきたい」と、人口減少と農業問題に積極的に取り組む決意が語られました。



集会では、牧野勇司士別市長をはじめ多くの皆さんが祝福に駆けつけていただき、ダルマにV3を入れ、勝利を喜び合いました。

3期目の当選を決めた北口道議は、「選挙がなかった重みをしっかりと受けとめ、この地域の発展に努力していく」と、決意を新たにされました。

3期目の決意

先の北海道議会議員選挙では、皆様の大きなご支援をいただき、無投票ではありましたが、3期目の議席を与えていただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

いま北海道は、人口減少や高齢社会への対応、農政改革、地域医療の確保、エネルギー問題など、大変重要な課題が山積しております。今後とも皆様のご意見を伺いながら、この地域の声をしっかりと発信していく決意です。

北海道議会議員 北口雄幸

第一回定例道議会報告(2月20日~3月11日)

不誠実な知事答弁

第1回定例道議会は、統一地方選挙を前にしての定例会でしたが、道政史上初の4選を目指して立候補するとした高橋知事は、8年前、4年前と同様に、選挙公約を明らかにしないまま議会審議に臨みました。

このことは、公約を定例会前に明らかにして議会で論議されることを避けるた

めと考えられ、一方で議会の会期中にも全道各地を回って、リップサービスの発言が繰り返され、知事の無責任な姿勢に厳しい意見が出されました。

こうした姿勢は、本会議や委員会での質疑にも反映され、急激な人口減少など、その一方で、まったく進んでいない道の行財政改革に関する質問に対し、正面か

ら答えられない不誠実な答弁が繰り返されました。

予算は骨格編成

平成27年度の道予算は、統一地方選を控えて骨格で編成。予算規模は、一般会計2兆5,290億円、特別会計6,386億円、合計3兆1,676億円で、一般会計の規模は、平成26年度当初予算案を7.1%下回っています。義務的経費の計上額を7月までの額とするなどして規模を抑制し、選挙後の第2回定例会で政策的な補正を行うとしています。

また、26年度の補正予算は、冒頭に地域創生先行事業などの386億円が提案されました。

さらに、最終整理補正予算は、一般会計で291億

円、特別会計で38億円のそれぞれ減額。この結果、平成26年度の道予算の規模は、一般会計2兆7,541億円、特別会計6,094億円の合計3兆3,635億円となりました。

一般・予特で質問

北口道議は、一般質問、予算特別委員会のそれぞれで質問。知事の考えを質しました。

一般質問では、(1)農業政策について、(2)人口減少社会について、(3)エネルギー



一般質問で農業政策などを質問(3月2日)

元気なふるさと 創造宣言

北海道議会議員

北口雄幸

二〇一五年 夢つかむ

ゆうこう

2015年短冊

政策について質問しました。

また、予算特別委員会の各部審査では、(1)地域医療について(保健福祉部)、(2)TPPについて(総合政策部)、(3)知事名の文書配布について(総合政策部)質問。

さらに、予算特別委員会の知事総括質疑でも、(1)地域医療について、(2)TPPについて、(3)知事名の文書配布について知事の考えを質してきましたが、真摯な答弁を得るには至りませんでした。

採択された決議・意見書

◆大間原発の建設工事中断も含めた慎重な対応を求める決議 ●新規漁業就業者に対する支援制度の充実・強化を求める意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



全上川農民連盟定期総会で挨拶(2月4日)



士別神社参集殿の雪おろし作業(1月11日)



全日本スノーモビル選手権大会で挨拶(2月15日)



JA道中央会と農協改革で意見交換(2月12日)



TPPから命と暮らしを守ろう緊急大集会(3月22日)



第23回温根別雪まつりで挨拶(3月8日)



←羊アート(3月28日)



「TPP断固阻止!全上川集会」で挨拶(3月21日)



←菅原美喜雄氏が受賞した士別市農業奨励賞授賞式(3月24日)



→美深町での北海道地域文化選奨贈呈式に出席(3月19日)

北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kiaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(1月～3月分)

◆1月5日【占冠消防出初式】

▼占冠消防の出初式は35人の消防職団員が参加。冒頭、庁舎前で点呼・観閲後、庁舎内で出初式式典を行った。永年勤続者に対する表彰を行い、富良野広域連合副会長で占冠村の中村博村長から「昨年の日本は、大規模災害に見舞われた一年だった。占冠村では、昨年12月2日に大型バスの事故によ

祝 占冠消防出初式



占冠消防出初式で挨拶

り18名が怪我をする事故があり、救急体制の重要性を認識した。また、火災については、家庭用の警報器が99.7%設置された。これからも安全・安心のまちづくりを進めていきたい」と訓示された▼来賓挨拶で私は、「災害はなくすことはできないが、村民と皆さんの努力により、被害を少なくすることはできる。これからも、日頃の訓練を通じて、災害のないまちづくりを進めて欲しい」と挨拶させていただきました。

◆1月30日【土地改良事業の要請】

▼上富良野町農民連盟の定期総会の前段、東中地区道管土地改良推進協議会(岩崎治男期成会長)から現状と課題について説明を受け、土地改良予算の確保と地元負担の低減についての要請を承った。東中地区は、約千haを5つの地域にわけて事業を進めており、平成26年度補正予算の確保が少なかつたことから、予定通り事業が進捗できるか



上富良野町土地改良事業について要請

どうか、地元からも心配をされているという。私からは、「今日的な異常気象や担い手不足という状況で、基盤整備の要望は増えている。一方、今回の補正予算が十分確保できなかったことから、事業の遅れが心配されるが、皆さんの期待に応えられるよう努力したい。」とお話させていただいた。

◆3月22日【TPP札幌街宣行動&緊急大集会】

▼北海道農民連盟(石川純雄執行委員長)主催の「STOP TPP!道内一斉行動」は、道内各地域で地区緊急集会を開催。そして、その締めくくりとして今日の札幌での街宣行動である(中略)

▼その後、「TPPから命と暮らしを守ろう!北海道緊急大集会」に参加。TPP問題を考える道民会議など60団体の皆さんが参加し、札幌市民ホールが満席になるほどの熱気で開催された。冒頭、実行委員長の飛田稔章北海道JA中央会長が挨拶。その後、外交評論家の孫崎享氏が「格差を生むTPPの正体」と題した講演をされ、「日本は、国民の9割が中流と言われるほど、格差が少ない国であった。一方アメリカは、医療などをはじめ、貧富の格差が激しく、これが社会問題となっている。そんな国にして



北海道農連主催のTPP 札幌街宣活動

良いのか。」と、問題提起された。その後、パネルディスカッションで、各分野の皆さんからご意見をいただき、最後は集会決議を採択し、緊急大集会を終えたところだ。

【つぎ】

▼4月12日に執行された知事選挙では、道政史上初となる高橋知事の4選が確定した▼これは、高橋知事の知名度の高さと同時に、佐藤のりゆきさんへの支持の遅れが原因と考えられる▼一方、佐藤のりゆきさんへ投票していただいた114万票は、とても重いもので、その重みを議会できかに議論するかが、私に与えられた使命と感じているところだ▼また、今回の道議選挙では多くの仲間が議席を失った。まだまだ民主党への信頼は回復しきっていない証拠だ▼最後に、愚直に、真剣に地域の声を聞き、着実に一歩ずつ信頼を得るための努力をしていかなければならない。そして、北海道が元気になることが、私たちの最大の役割であることを再認識し、決意を新たにしている。(つぎ)